

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和6年12月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和6年12月17日 開会：午後2時00分 閉会：午後2時41分

会 場 成田市役所6階 中会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	日 暮 美智子
委 員（教育長職務代理者）	高 山 勇
委 員	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部担当次長	藤 崎 清
教育総務課長	川名部 康 文
学校施設課長	大須賀 一 夫
学務課長	井 上 功太郎
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	菅 井 良 江
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐（書記）	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 佐藤委員、片岡委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○12月12日・13日 教育長・校長人事面接（一次）について

年度末の人事異動について、各学校の校長先生方の異動構想、学校の課題等をお聞きしました。どの学校も大変よく構想が練られておりました。共通する課題は、継続してきた取組みが加配教員が配置されないことにより続かなくなってしまうこと、音楽専科など音楽指導を主とする教員の確保が難しいこと、特別支援学級の入級者が増えそうなのに指導者が十分確保できる見込みがないこと、今後同時期に永年者が重なり、計画的な人事異動を進めていかねばならないことなどが挙げられていました。

市議会

○11月29日～12月18日 令和6年12月定例会について

今議会に教育委員会から提案した議案は、学校給食センター本所に係る「市有財産の取得について（厨房機器等）」の1件でした。

また、一般質問では11名の議員から質問を受けました。それぞれ担当部署で丁寧に調査し、答弁書を作成していただきました。

質問内容は、ウェルビーイング、平和教育、修学旅行、プログラミング教育、読解力等教育課程に関するもの、日本語指導が必要な児童生徒、不登校児童生徒への支援に関するもの、学校給食に関するもの、ジェンダーや情報リテラシーに関するもの、家庭教育学級等、多岐にわたりました。

○12月10日 教育民生常任委員会

今議会に教育委員会から提案した、「市有財産の取得について（厨房機器等）」を含む議案等6件について審査していただくとともに、「教育に関する事務の点検及び評価について」を含む4件の報告をさせていただき、各常任委員の皆様からご質問やご意見を頂きました。この中で特に問題となるような点はなく、全議案全会一致で可決すべきものと決しました。

市有財産の取得に関しては、委員からは、回転釜等の機器についての説明を求められ、また、施設整備について親子方式ではなく大がかりな施設になる理由等を尋ねられました。その他、学校給食でオーガニック給食を試行していることへの評価を頂くことができました。

その他

○11月29日 玉造中学校創立40周年記念式典について

記念式典は「記念事業報告」「生徒会発表」「記念公演」の流れで執り行われました。公務のため、途中からの参加となりましたが、記念公演では、平成9年度玉造中を卒業したトロンボーン奏者の湯浅佳代子氏を含む4名による演奏を聴くことができました。生徒たちに馴染みのある曲も演奏していただき、会場はとても温かく良い雰囲気となりました。中学校の部活動で楽器を始めた湯浅氏がプロとして活躍する姿は、生徒たちが未来を描くことへの一助となったことと思います。

何よりも、生徒たちが話をしっかり聞き、自ら行動する姿に感銘を受けました。

○11月29日 千葉県小中学校体育連盟印旛支部令和6年度受賞祝賀会について

学校体育や学校保健の発展に尽力された5名の教職員が県功労彰の栄に浴され、また、4つの学校が賞を受賞されました。成田市内では、成田中学校が「千葉県学校体育優良校」に選出されました。男女共修授業を通して、男女間で肯定的なコミュニケーションや互いを認め合う場面の必要性について、2年間研究実践を積み重ねてきたことが評価されました。

○12月1日 第94回印旛郡市駅伝競走大会について

中学校の部、一般・高校の部として、佐倉市岩名運動公園近隣をコースとして開催されました。中学校の部女子は5区間で計12.1km、男子は6区間で17.6kmを走ります。成田市立中学校・義務教育学校からは全校が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。

○12月4日 千葉ロッテマリーンズ成田後援会「2024年度会員と選手との交流の夕べ」について

公務としての参加ではありませんので、詳しくはご報告いたしません。毎年、千葉ロッテマリーンズの成田後援会が主催し、現役選手が招かれ、ファンとの交流会を実施しています。選手トークショー、サイン会、選手持参のグッズ入札会等が行われ、子どもから大人まで多くのファンが楽しめた交流会となっていました。

○12月7日 成田市文化財保護協会創立70周年記念式典について

成田市文化財審議委員会で本市がご助言をいただいている木村修先生が会長を務めておられる本協会が70周年の節目を迎えました。

同じく審議委員の国立歴史民俗博物館名誉教授であられる濱島正志先生の講演「新勝寺の堂塔について」も行われ、充実した式典でした。

○12月7日 第41回千葉県ユネスコ大会IN NARITAについて

千葉県ユネスコ大会が、市制施行70周年記念にあわせて成田の地で開催されました。

市立学校では、公津の杜小学校と玉造中学校がユネスコスクールとして認定されており、本大会でも発表の場がありました。

公津の杜小合唱部が、「校歌」と、「月のメドレー」という日本の叙情歌で綴られた曲に気持ちを込めて歌ってくれ、県内の公立中学校として初のユネスコスクールに認定された玉造中はESDの実践を通して地球規模の課題に身近に取り組んでいる様子を立派に発表しました。

○12月8日 令和6年度一般社団法人成田市スポーツ協会祝賀会について

成田市スポーツ協会に加盟する各種団体及び個人の皆様が、千葉県及び県スポーツ協会等から表彰されたことを受け、この祝賀会が開催されました。今回、団体では成田グランド・ゴルフ協会が、個人では5名の方が表彰を受けられました。

○12月11日 千葉県北総教育事務所令和6年度末人事異動構想情報交換について

北総教育事務所管理課長と、2回目の管理職人事ヒアリングを行いました。内容は1回目とほぼ同様ですが、北総管内では今年度も管理職不足の状況は変わらないようです。本市においても、現状で管理職候補者名簿に登載されている職員だけでは、来年度必要とされるポストを全て埋めることはできません。今年度の管理職選考において合格者が多数出ることを期待したいと思います。

○12月16日 北総教育事務所令和6年度末人事異動面接（第一次）について

先日、市内すべての小中義務教育学校の校長先生方からヒアリングした内容について、今度は各校長が北総教育事務所長はじめ教育事務所の人事担当に同様のお話をいたしました。1校5分で、校長先生方の説明は2分程度と短い時間ですが、準備良く簡潔な説明をされていまし

た。

校長先生方の思いを受け止め、教育事務所と連絡を密にし、丁寧に人事事務を進めていかねばと改めて思いました。

○12月16日 成田市学校栄養士研修会について

市内には、給食センター本所、3つの分所と5つの共同調理場があり、12名の栄養士が配置されています。今回の研修会には11名の栄養教諭及び栄養職員の参加があり、給食の献立作成や食育を担当する皆さんのお話を伺うことができました。給食センター本所、分所はそれぞれの施設の老朽化が進行し、様々な課題が生じているとのことでした。また、公津の杜中の共同調理場では、10年以上が経過していることもあり、機器の不具合が出てきていることも伺いました。

研修の中で、皆さんが学校と良く連携し、食育を進めてくださっている様子をプレゼン資料や動画を使って説明してくださいました。「子どもたちのために」という気持ちで力を尽くしてくださっていることを感じました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私は、玉造小学校の指導室訪問に参加させていただきました。玉造小学校へは、大規模改修後、初めて中に入り、前に比べて明るく綺麗になったことを確認できました。授業の中で感心したことは、4年生の社会科で「残したいのも、伝えたいもの」というテーマで、玉造の今と昔について、今の地図と大昔の地図を2つ並べて比較するということをしていました。子どもたちに身近な題材を使っていて、とても興味が沸く授業であるなど感じました。

高山委員：私も玉造小学校の指導室訪問に参加させていただきました。どのクラスもとても良い授業を展開されていました。気になった点としましては、子どもたちの作品展示の中に、「作成中」となっている箇所がいくつか見受けられました。欠席など、何らかの理由で提出ができていない子がいるのかなと思っていますが、その子が登校した際にそれを見てどう感じるのかなとも考えていたところです。作品展示は学習の記録という

ことでの取り組みであることはわかりますが、作品制作のたびに張り出していけば、制作していない子は張らないわけですから、目立たなくてよいのかなと感じました。また、これはどこの学校にも当てはまることでもあるなと感じました。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号「令和6年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」

井上学務課長：本表彰は、印教連表彰規程により、印旛地区の教育学術に功績のあった個人に対して表彰するものです。別紙資料2にあります「印旛地区教育委員会連絡協議会表彰規程」第2条1項「印旛地区に、長期にわたり勤務し、印旛教育に多大に貢献した者」同条2項「有益な研究考案、または発明をし、印旛教育に貢献した者」同条3項「前各号に掲げる者のほか、表彰することが適当と認められる功績があった者」に該当する者を本市教育委員会として推薦しようとするものです。

議案の通り、2条1項に該当する者として9名、推薦を提案したいと思います。

それでは、推薦候補者の功績についての概略を説明します。議案の2ページをお開き下さい。

1番、遠山小学校の渡辺和幸校長です。

昭和63年、栄町立安食台小学校教諭。管内小学校教諭、四街道市立四和小学校教頭、管内小学校教頭、成田市立下総みどり学園副校長。その後、成田市立吾妻小学校校長を経て、令和5年から現職。「子どもたち一人一人が主役となる学校づくり」を教育目標に掲げ、その具現化に向けて、児童の育成、教職員と連携した教育活動の充実に実績を上げ、印旛地区教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

2番、三里塚小学校の村田正志校長です。

昭和63年、成田市立加良部小学校教諭。管内小学校教諭、中央児童相談所児

童指導員、成田市教育委員会教育指導課指導主事、同学務課管理主事、千葉県立富里特別支援学校教頭、成田市教育委員会教育指導課副参事、成田市立下総小学校副校長、成田市立下総みどり学園副校長。その後、成田市立桜田小学校校長を経て、令和3年から現職。この間、学校経営や教育行政に実績を上げ、特に理科教育の振興に尽力し、印旛地区教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

3番、八生小学校の渡辺久美子校長です。

平成元年、佐倉市立佐倉中学校教諭。管内中学校教諭、成田市立大栄中学校教頭。その後、成田市立大栄みらい学園教頭を経て、令和4年から現職。この間、学校経営に卓越した手腕、指導力を発揮されるとともに、音楽科教育に尽力され、千葉県教育研究会音楽教育部会副会長、印旛地区教育研究会音楽研究部長、第60回千葉県小・中学校音楽教育研究大会北総成田大会準備委員長として、教育の振興発展に寄与された功績は大きいということから推薦いたします。

4番、公津小学校の齋藤弘光校長です。

昭和63年、旭市立第二中学校教諭。管内中学校教諭、成田市立加良部小学校教頭。その後、成田市立成田中学校教頭を経て、令和4年から現職。「心豊かで自ら学ぶたくましい児童の育成」を教育目標に掲げ、その具現化に向けて児童の育成、教職員の指導力向上に手腕を発揮した。この間、学校経営並びに地域と連携した教育活動の充実に実績を上げ、印旛地区教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

5番、久住中学校の麻生辰浩校長です。

昭和63年、成田市立成田中学校教諭。管内中学校教諭、成田市立大栄中学校教頭、管内小学校教頭、成田市教育委員会生涯学習課副参事。その後、成田市立遠山小学校校長を経て、令和5年から現職。この間、印旛地区教育研究会理科部会の各役職を務め、児童生徒の理科離れ対策事業サテライト研究員として、後進の育成に手腕を発揮した。学校経営、児童生徒の育成はもとより、理科教育の推進に尽力され、学校教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたしま

す。

6 番、西中学校の藤崎修治校長です。

昭和 6 2 年、佐倉市立佐倉東中学校教諭。管内中学校教諭、成田市教育委員会学務課管理主事、成田市立西中学校教頭、北総教育事務所管理課管理主事、成田市立下総みどり学園校長。その後、成田市教育委員会学務課長を経て、令和 3 年から現職。この間、印旛地区教育研究会理事、印旛地区小中学校長会会長を務めた。学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に数学科教育ならびに情報教育の振興に尽力し、印旛地区教育の親展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

7 番、大栄みらい学園の阿部光雄校長です。

平成 2 年、白井町立七次台中学校教諭。管内中学校教諭、成田市教育委員会教育指導課指導主事、成田市立下総中学校教頭、成田市教育委員会教育指導課副参事。その後、成田市立大栄中学校校長を経て、令和 3 年から現職。この間、印旛地区教育研究会進路指導研究部長、社会科研究部幹事を務めた。学校教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導に手腕を発揮した。学校経営や教育行政、次世代を担う教職員の育成に実績を上げ、印旛地区教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

8 番、美郷台小学校の福士昌代栄養教諭です。

平成 2 年、栄町立布鎌小学校技師。栄町立安食小学校主任技師、佐倉市立臼井南中学校専門員、管内中学校専門員、成田市立加良部小学校上席専門員、成田市立公津の杜中学校栄養教諭。その後、成田市教育委員会教育指導課指導主事を経て、令和 2 年から現職。この間、共同調理場新設に伴い、運営に中心的に携わり、他の教職員と連携・調整して食に関する指導や学校給食管理に手腕を発揮した。市内全体の栄養指導に尽力し、印旛地区教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

9 番、久住中学校の須藤加津子養護教諭です。

平成元年、印西町立永治小学校養護教諭。管内小学校養護教諭。その後、成

田市教育委員会教育指導課指導主事を経て、令和2年から現職。この間、印旛郡市養護教諭会会計、千葉県養護教諭会北総印旛地区委員、同会本部役員財務を務めた。これらを受けて、千葉県歯科医師会長表彰、千葉県学校健康教育功労者表彰を受賞。勤務校での学校保健活動の充実と印旛郡市及び千葉県養護教諭会の役員として尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

《議案第1号に対する質疑》

佐藤委員：私は、過去4年間、印教連で選考委員長をした経験から申し上げたいと思います。

選考では、候補者が印旛の教育に対してどれだけの貢献があったか、この視点が重要となります。印旛の教育に直接どのように貢献されたかが確認されますので、印旛の役職に就いていたとか、具体的な記載をいただくとよいのではないかと思います。

高山委員：選考書類への記載方法についてですが、具体的な内容の記載があると貢献度合いが確認できると思います。

日暮教育長：その他、よろしいでしょうか。

特にないようですので、議案第1号「令和6年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」を採決いたします。

本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第2号「成田市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則及び成田市立学校職員服務規程の一部改正について」

井上学務課長：令和4年5月2日、国において、育児休業の取得回数の制限を緩和し、働きながら育児がしやすい環境整備をさらに進めるため、「地方公務員の育児休業等に関する

る法律」の一部が改正されました。千葉県においても、「職員の育児休業等に関する条例」の一部を改正し、それぞれ同年10月1日から施行しています。この改正を受け、本市においても、成田市職員の育児休業等に関する条例、成田市職員の育児休業等に関する規則等の改正を行っているところです。

また、千葉県において、県独自の新たな「子育て部分休暇制度」を設けるため、「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」及び「職員の勤務時間、休暇等に関する規則」の一部を改正し、令和5年11月1日から施行しています。

これらの改正により、令和6年3月8日付けで、千葉都市教育長協議会から「市町村立小学校及び中学校管理規則のモデル規則、並びに市町村立学校職員服務規程のモデル規則の一部改正について」の通知があり、育児休業の取得回数の制限の緩和及び子育て部分休暇に係る規定が追加されたことから、本市においても、当該規定を追加する必要があるため、成田市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則及び成田市立学校職員服務規程の一部を改正するものです。

《議案第2号に対する質疑》

片岡委員：モデル規則とはどういったものなのでしょうか。

井上学務課長：県費負担教職員の任命権者は千葉県ですが、服務監督権は各市町村教育委員会となりますので、各市町村の規則によるところとなります。市町村ごとに規則の作り込みが若干異なりますことから、千葉県都市教育長協議会ではモデル規則を示すことで、それを参考に各市町村は規則を定めております。成田市でもモデル規則を参考に規則を定めているところでございます。

片岡委員：具体的には、どのように変わるのでしょうか。

井上学務課長：これまで、部分休業は給料が出ませんでしたが、改正により部分休暇となります

ので、給料がある中での休暇制度の一つとなります。また、子育てをしながら休みやすくなり、30分単位で1日1時間までということで、子育て世代の職員には働きやすくなるのではないかと思います。

日暮教育長：その他、よろしいでしょうか。

特にないようですので、議案第2号「成田市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則及び成田市立学校職員服務規程の一部改正について」を採決いたします。

本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

(2) 報告事項

報告第1号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により報告する。

《これより非公開》

報告第1号「訴訟の経過について」

《非公開を解く》

6. その他

特になし

7. 教育長閉会宣言